MS344－14001
GRサイドスカート

取付・取扱要領書

この度はTRD GRサイドスカートをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本書は本製品の取付け、取扱いについての要領と注意を記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付け、取扱いを実施してください。
なお、本書の取扱い上のご注意（ご使用になるお客様へ）は必ずお客様にお渡しください。

● 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品番	車種	適合年式	備考
MS344-14001	スープラ	’19.5～	

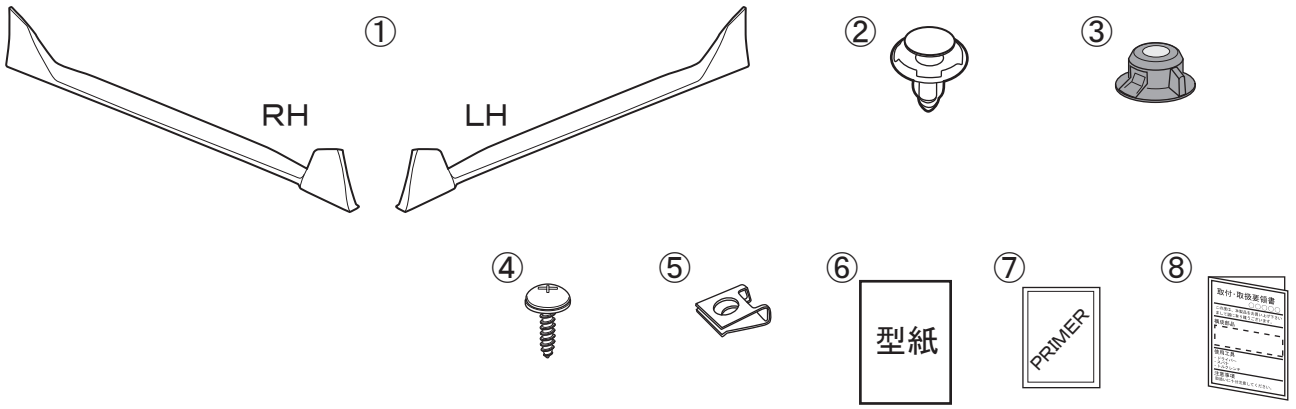
・取付けには前後のタイヤホイールの脱着が必要となります。
・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 http://www.trdparts.jp/

■ 構成部品

No.	品　名	個数	備考
①	サイドスカート（RH／LH）	各1	
②	クリップ	12	
③	クリップナット	2	
④	タッピングスクリュー	4	M5×20
⑤	Jナット	4	
⑥	型紙（RH／LH）	1	
⑦	PACプライマー	2	
⑧	取付・取扱要領書	1	本書

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等の恐れがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので絶対に行わないでください。

❗ 本商品の取付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。

❗ 取付け作業は規定トルクに従って、確実に締付けてください。締め付けが足らないと脱落などにより重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。

❗ 本商品の取付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取扱いを行ない、同時に取付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、上記以外の溶剤は絶対に使用しないでください。

❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。

❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。

❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足らないと両面テープが剥がれます。

❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足らないと両面テープが剥がれます。

⃠ 本商品の取付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取付けが終わったら

❗ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。

❗ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。

❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

Racing Development TRD

■ 目次

１．表紙、適合表、構成部品表、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２．取付け・取扱いご注意（作業者様へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
３．目次、取付けに必要な工具・保護具・消耗品、取付構成図・・・・・・・・・・３
４．取付け要項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４～９
５．取付け完了後の点検、注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０

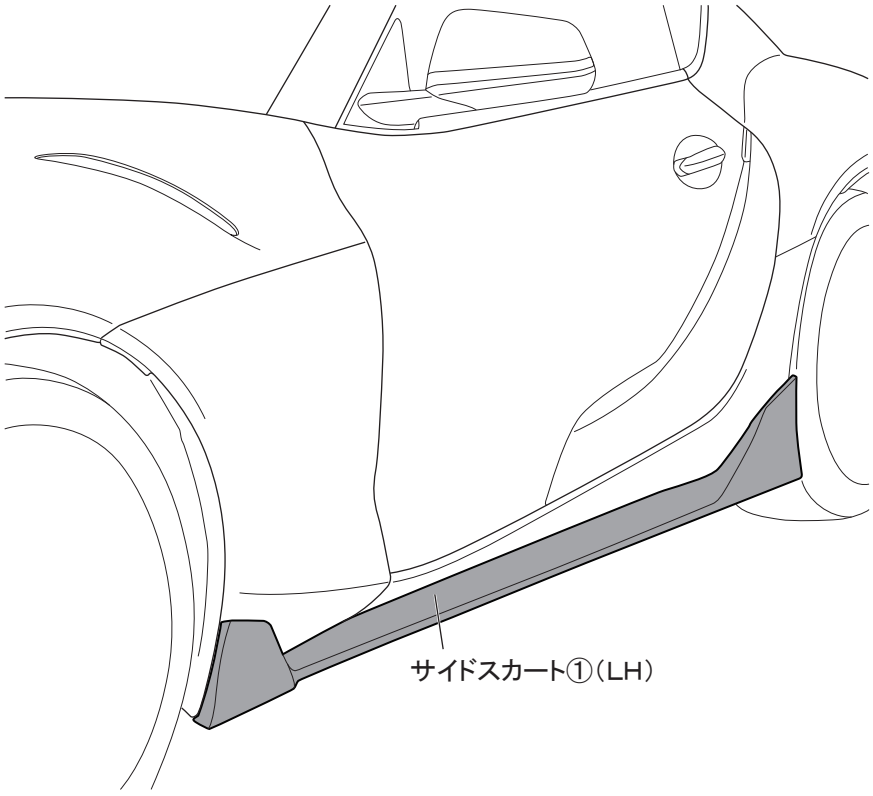
■ 取付けに必要な工具・保護具・消耗品

・一般工具
・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・保護メガネ
・電動ドリル（刃：３．０mm/６．０mm/７．０mm/８．０mm/１０．０mm）
・軍手・保護シート・保護テープ・マスキングテープ
・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（ＩＰＡ）・清潔なウエス

■ 本商品は、１年・20,000Ｋｍの保証を実施致します。
（１年または 20,000Ｋｍ走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はＴＲＤパーツカタログサイト<http://www.trdparts.jp/>
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

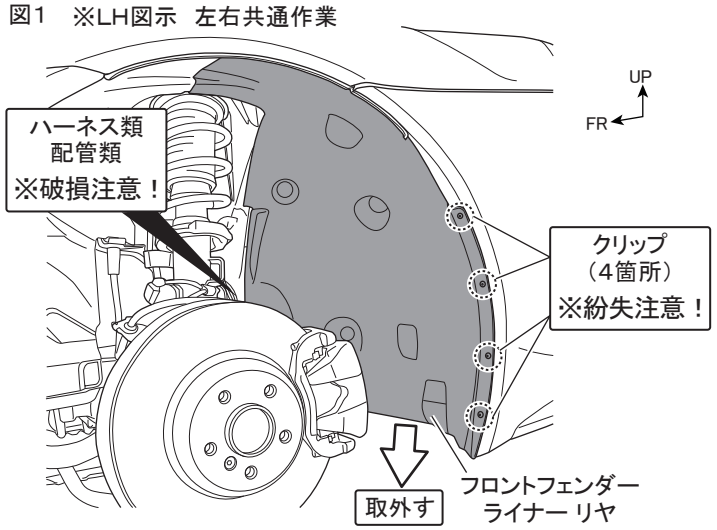
※ＬＨ図示



Racing Development TRD

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

図1　※LH図示　左右共通作業



□サイドスカート取付準備

1. 図1のように該当車両の修理書に従い、前後のタイヤホイール及び、フロントフェンダーライナーリヤを取外す。

⚠注意：フェンダーライナー取外しの際にハーネス類、配管等を損傷させないよう注意してください。
また、フェンダーライナー固定クリップは再利用します。クリップのピンは忘れない様必ず回収してください。

2. 図2のようにフロントフェンダー側面に型紙⑥を貼付ける。

図2　※LH図示　左右共通作業

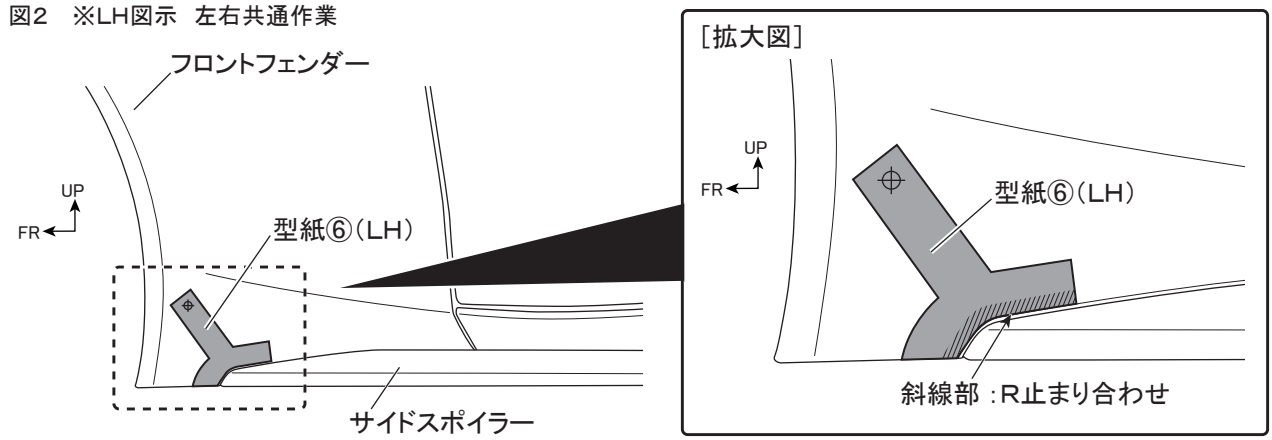
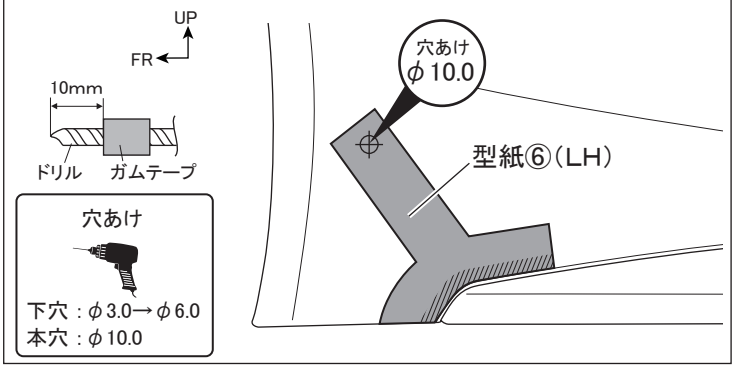


図3　側面視　※LH図示　左右共通作業



3. 図3のようにフロントフェンダー側面の型紙⑥の穴あけ位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0の順であけ、φ10.0の本穴をあける。
（左右各1箇所）

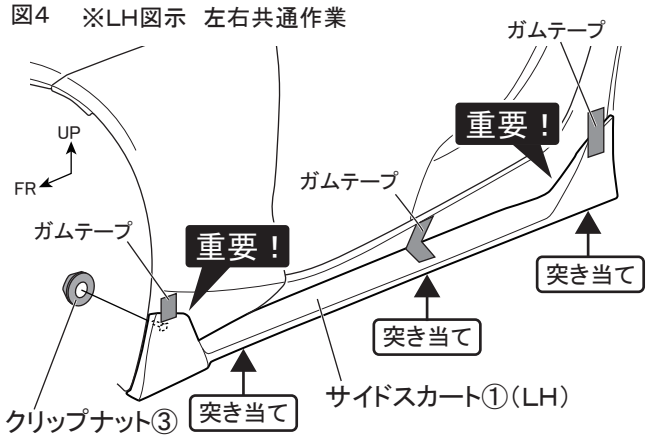
アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

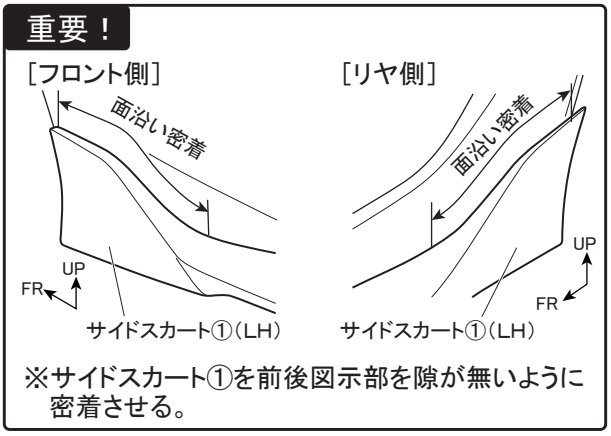
⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

4. 型紙⑥を剥がし、穴周囲のバリを除去して加工部周囲をタッチアップする。

5. 図4のようにサイドスカート①を車両側面にあて、 サイドスカート①のスタッドボルトをφ10 加工穴に通してクリップナット③を仮締めし、 形状に合わせて押し当てながら位置決めしてガムテープ等で仮固定する。

図4　※LH図示　左右共通作業



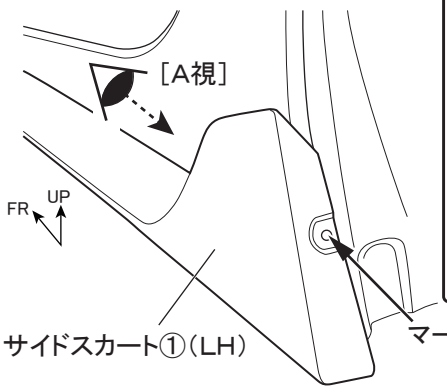


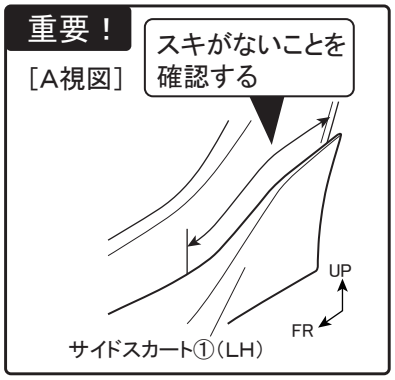
※サイドスカート①を前後図示部を隙が無いように密着させる。

⚠注意：フェンダーライナーを外したフロントフェンダーパネルは曲がり易い為、 過度の力を加え無いよう作業を行ってください。

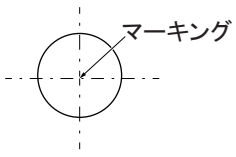
6. 図5のようにサイドスカート①後端ホイールハウス折返し部の穴位置に合わせて穴あけ位置をマーキングする。（左右各1箇所）

図5　※LH図示　左右共通作業



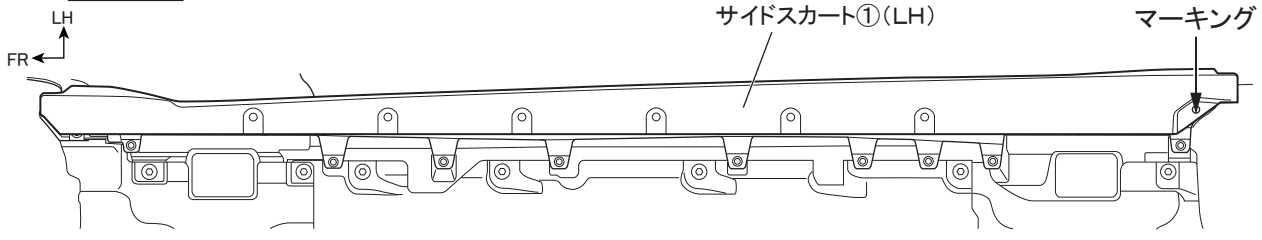


⚠注意：穴中心に合わせてマーキングしてください。



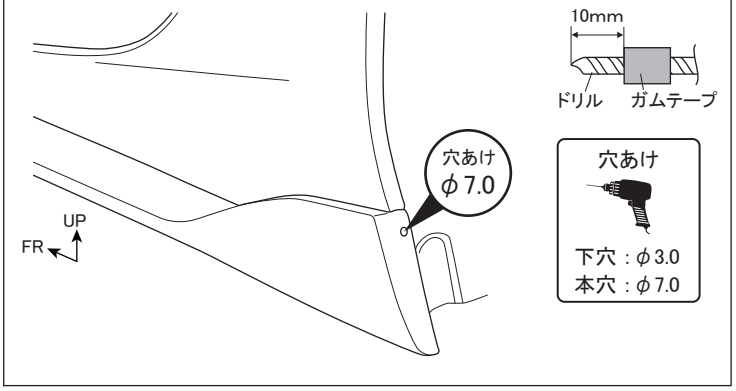
7. 図6のようにサイドスカート①下面後端の穴位置に合わせて車両下面に穴あけ位置をマーキングする。（左右各1箇所）

図6　下面視　※LH図示　左右共通作業



8. サイドスカート①を取外す。

図7　※LH図示　左右共通作業



9. 図7のようにリヤホイールハウス折返し部のマーキングに合わせて下穴をφ3.0であけ、φ7.0の本穴をあける。（左右各1箇所）

アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、位置がズレないように注意してください。

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

10. 下面及び、ホイールハウス折返し部の加工穴周囲のバリを除去する。

11. 図8のように車両下面後端部のマーキングに合わせて下穴をφ3.0であけ、φ6.0の本穴をあける。（左右各1箇所）

図8　下面視　※LH図示　左右共通作業

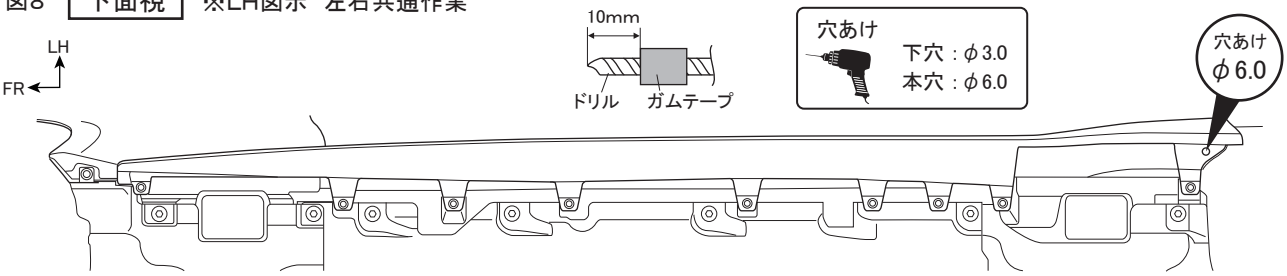
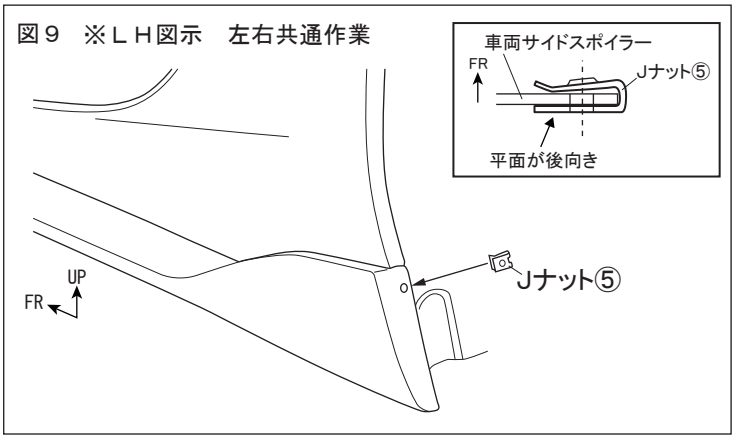


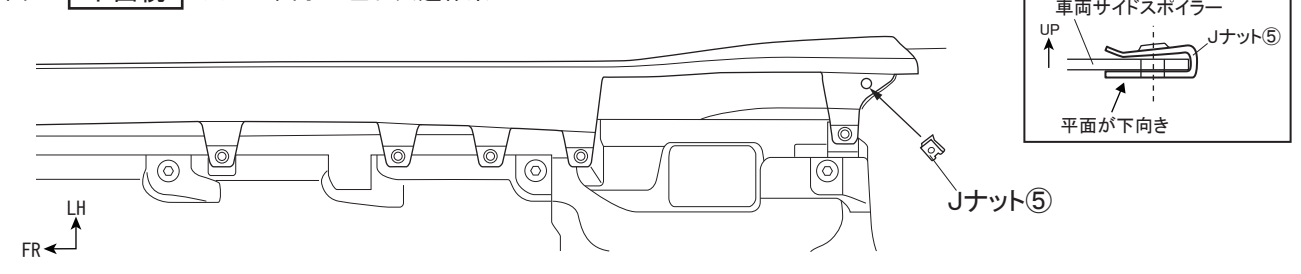
図9　※ＬＨ図示　左右共通作業



12. 図9のようにリヤホイールハウス折返し部の穴に合わせてJナット⑤を取付ける。（左右各1箇所）

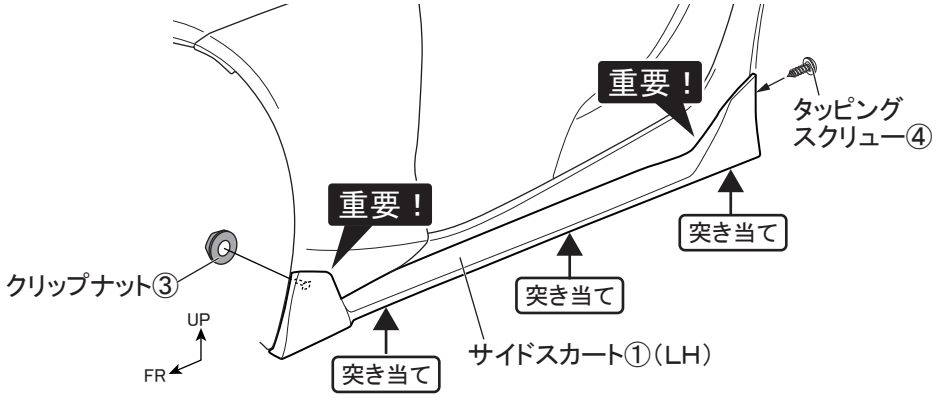
13. 図10のように車両下面後方のφ6.0に合わせてJナット⑤を取付ける。（左右各1箇所）

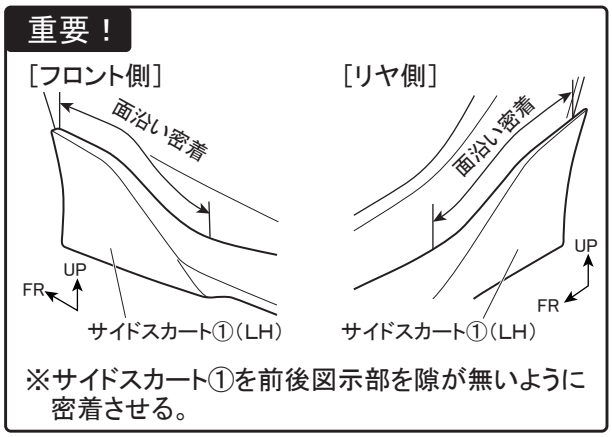
図10　下面視　※ＬＨ図示　左右共通作業



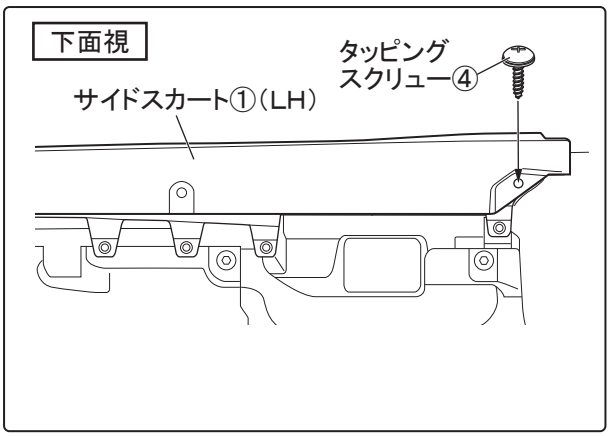
14. 図 11 のようにサイドスカート①を車両側面にあて、 サイドスカート①のスタッドボルトをφ10 加工穴に通してクリップナット③を仮締めし、 下面及びリヤホイールハウス折返し部をタッピングスクリュー④を仮締めして形状に合わせて押し当てながら位置決めする。

図 11　※LH図示　左右共通作業



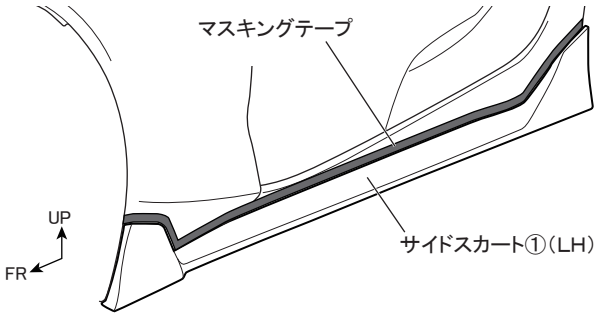


※サイドスカート①を前後図示部を隙が無いように密着させる。



⚠注意 : フロントフェンダーパネルは曲がり易い為、 過度の力を加え無いよう作業を行ってください。

図 12　※LH図示　左右共通作業

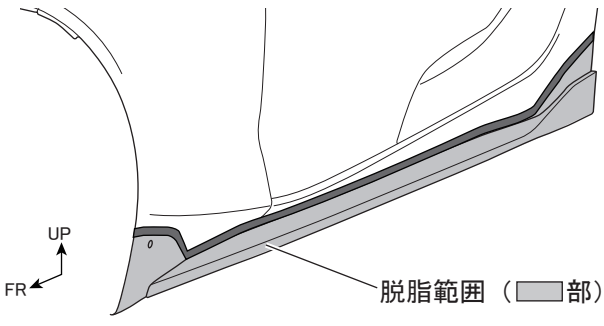


15. 図 12 のようにサイドスカート①の端末に合わせてマスキングテープを貼付ける。

⚠注意 : PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、 マスキングを行ってください。

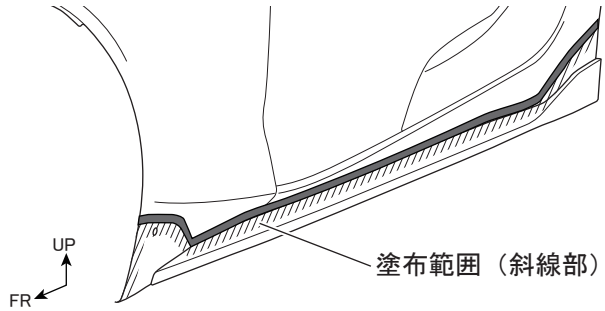
16. サイドスカート①を取外す。

図 13　※LH図示　左右共通作業



17. 図 13 のようにサイドスカート①の両面テープ貼付け部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方向に拭いて脱脂する。

図 14　※LH図示　左右共通作業



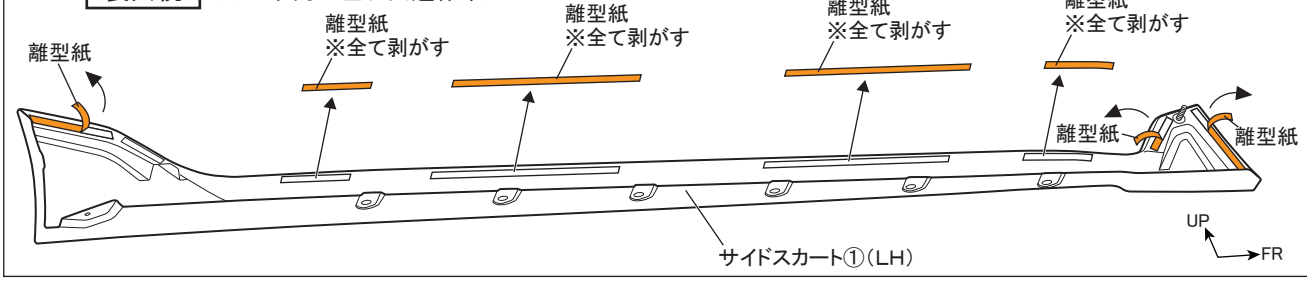
18. 図 14 のようにサイドスカート①の両面テープ貼付け部にPACプライマー⑦を塗布する。

⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにホワイトガソリンやIPA等で拭き取ってください。
付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

19. マスキングテープを剥がす。

20. 図 15 のようにサイドスカート①前後図示部の両面テープの離型紙をマスキングテープ等で表側に貼付け（左右各3箇所）、中央図示部の離型紙（左右各4箇所）を全て剥がす。

図 15　裏面視　※LH図示　左右共通作業



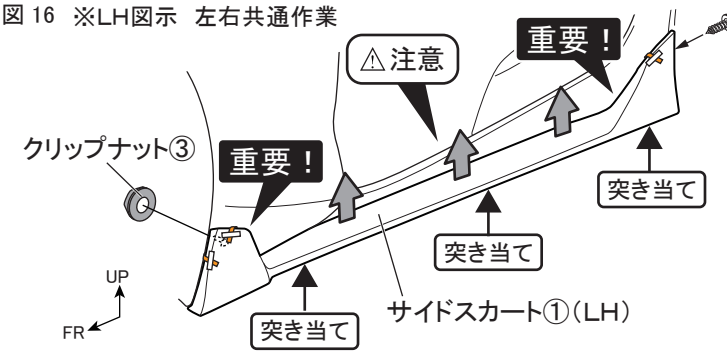
⚠注意：両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□サイドスカート取付要領

1. 図 16 のようにサイドスカート①を車両側面にあて、サイドスカート①のスタッドボルトをφ10 加工穴に通してクリップナット③を仮締めし、下面及びリヤホイールハウス折返し部をタッピングスクリュー④を仮締めして形状に合わせて押し当てながら位置決めする。

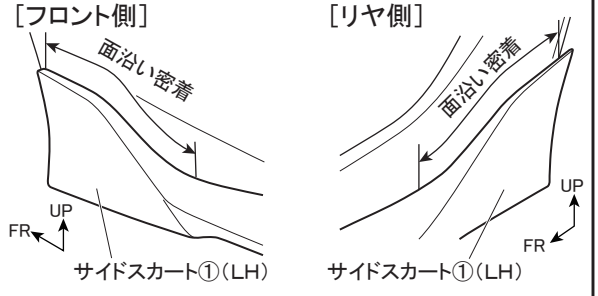
図 16　※LH図示　左右共通作業



⚠注意：中央部の両面テープが貼付かないよう、テープ面を押し上げ保持しながら位置決めしてください。

⚠注意：フェンダーライナーを外したフロントフェンダーパネルは曲がり易い為、過度の力を加え無いよう作業を行ってください。

重要！



※サイドスカート①を前後図示部を隙が無いように密着させる。

下面視

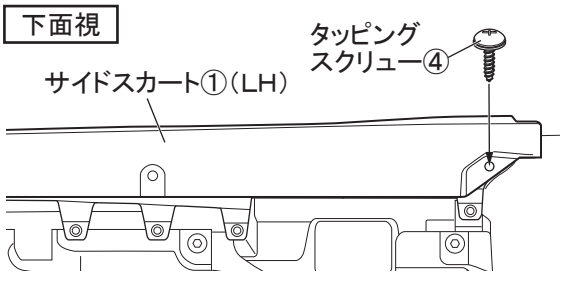
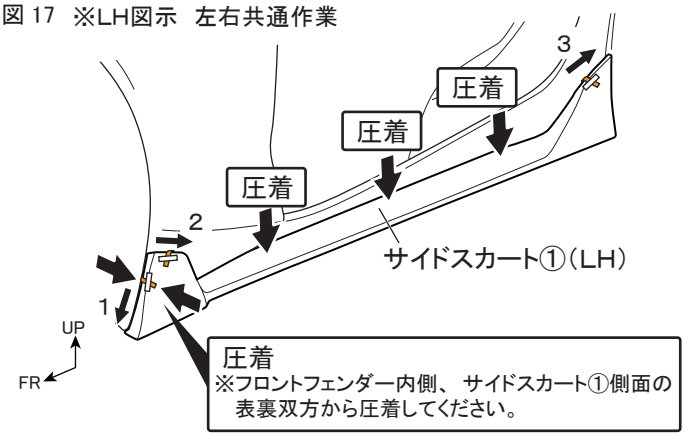


図 17　※LH図示　左右共通作業



2. 図 17 のように取付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼付け圧着する。

⚠注意 : 両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、 隙が発生する恐れがあります。

アドバイス

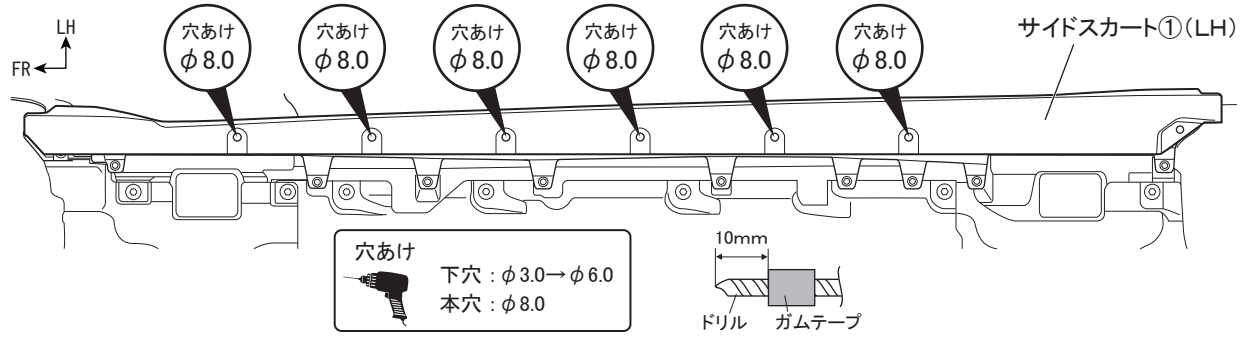
両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。 製品の取付け後は、 最低3時間程度、 強い振動や風圧（車両の移動を含む）が、 掛からないようにオープンタイム（静止時間）お取りください。

⚠ 警告　両面テープは十分に圧着してください。 圧着が不十分な場合、 浮き・剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。
両面テープ接着後、 24 時間以内は雨・洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。
接着力が低下し、 剥がれ・脱落等が発生する可能性があります。

3. クリップナット③（左右各1箇所）、 下面及びリヤホイールハウス折返し部のタッピングスクリュー④（左右各2箇所）を本締めする。

4. 図 18 のようにサイドスカート①下面の穴位置に合わせて下穴をφ3.0→φ6.0 の順であけ、φ8.0 の本穴をあける。（左右各6箇所）

図 18　下面視　※ＬＨ図示　左右共通作業

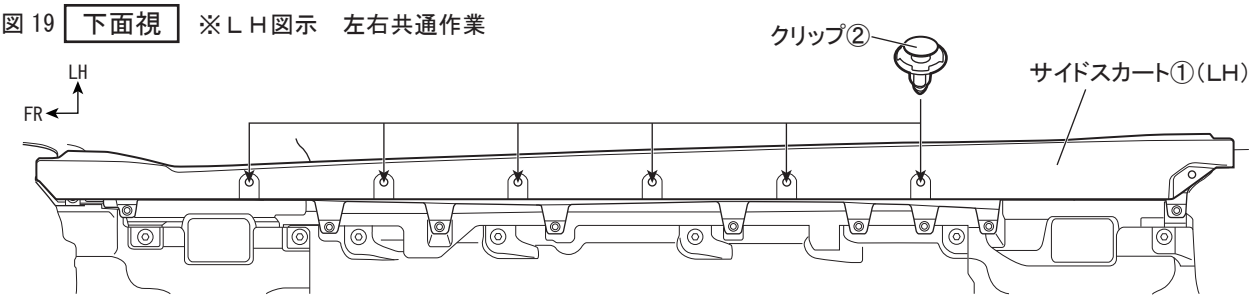


アドバイス : 穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、 位置がズレないように注意してください。

⚠注意 : 作業時は保護メガネを着用してください。

5. 図 19 のようにサイドスカート①下面の穴に合わせてクリップ②を取付ける。（左右各6箇所）

図 19　下面視　※ＬＨ図示　左右共通作業



6. 該当車両の修理書に従い、 フロントフェンダーライナーリヤを復元し、 タイヤホイールを取付ける。

⚠ 警告 : タイヤホイールの取付けは該当車両の修理書に従い、 確実に締付け行ってください。

Racing Development TRD

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、 浮き・剥がれ等、 無いことを確認する。
2. 車両及びサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取付けに伴い分解・脱着した部位により、 再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
ＴＲＤ商品問い合わせ窓口
〒222-0002 横浜市港北区師岡町８００番地
TEL:045-540-2121 FAX:045-540-2122
http:www.trdparts.jp/

Racing Development
TRD

脱脂作業要領書

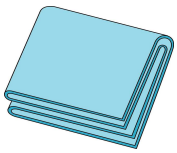
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

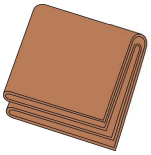
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

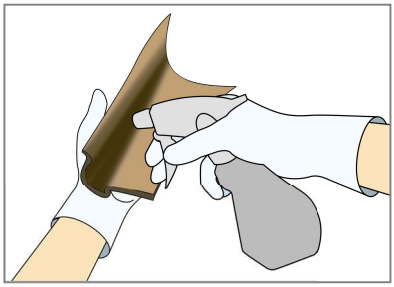

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

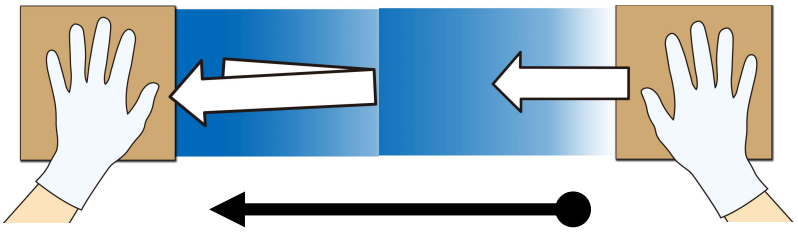


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

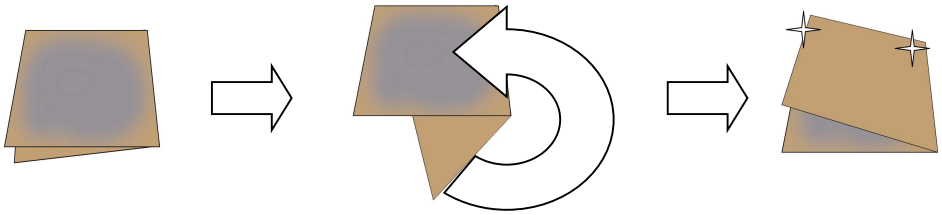
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。